

本校の取り組みが、(株)ベネッセコーポレーション『VIEW next』（ビューネクスト）高校版 臨時増刊号 に掲載されました。

詳しくは、ベネッセ教育総合研究所のホームページをご覧ください。

⇒ <https://berd.benesse.jp/magazine/kou/booklet/?id=5690>

GIGAスクール時代の学校で、生徒に伴走する教師集団に

ICTツールの活用で 「自らデザインする力」を 生徒に育みましょう

岩手県立花巻北高校 校長 川村俊彦

かわむら・としひこ 教職歴 37年。同校に赴任して2年目。モットーは「知識ではなく、学ぶ意欲と態度が生徒の将来をつくる」。

AI時代を生き抜くために 自らデザインする力を育みたい

私が勤務する岩手県立花巻北高校は、創立90周年を迎えた2021年度、「100年生きる君たちが花高100年の学びを創る」をテーマに、「学び方改革」を進めています。卒業生の多くが国公立大学に進学する本校は、県内屈指の歴史と伝統を誇り、地域では「花高」の愛称で親しまれてきました。一方で、中学生や保護者からは「花高に行くと、先生にたくさん勉強させられる」と言われる学校でした。

AIとの共存が求められる時代、生徒たちに必要とされるのは、答えのない課題に粘り強く向き合う力、周囲の人と励まし合い、お互いの潜在能力を引き出すような人間力です。しかし、そうした力は「先生に勉強させられる学校」では身につけません。卒業生でもある私は、本校の学び方改革を決意しました。

生徒、そして先生方に訴えているのは、「夢に向かって自らデザインする学び」を生徒に経験させよう、そのような学びを通して「人生をデザインする力」を身につけさせようということです。本校に入学した生徒は、卒業時のありたい自分の姿をイメージして、3年間の高校生活で取り組むべきTo doと達成すべきCAN-DOを言語化したロードマップの作成に取り組みます。本校では、各教科のシラバスでも、取り組むべきTo doと達成すべきCAN-DOが目指す進路別に明示されているため、生徒は自分のありたい姿や希望進路を念頭に、自ら学習計画を立てていきます。

*本文中のプロフィールはすべて取材時のものです。また、敬称略とさせていただきます。



生徒自身が1日をデザインし、 教師は生徒の変化を待つ

学習計画を実行するためには、学習時間を含めて1日の生活をデザインする必要があります。そこで本校が活用しているのがICTです。本校の生徒は、毎日の朝学習までの時間に、1日の学習計画をClassiに入力し、学習に取り組みます。参加する部活動も、目指す進路も、そもそも学力特性も異なる生徒それぞれに、教師が何をどのくらい勉強すればよいかを指示するのは不可能です。いつ、何を、どのように勉強するかを生徒に委ね、計画通りにうまく学